

2013年8月9日

日本貨物航空株式会社

NCA、日本政策投資銀行による環境格付を取得

日本貨物航空株式会社（本社：千葉県成田市、社長：坂本 深）は、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）より、「DBJ 環境格付」を取得し、本格付に基づく融資を受けました。

「DBJ 環境格付」を取得するのは航空運送事業者では初めてのことであり、当社の企業理念にある「企業市民として社会のルールを守るとともに、環境保全や社会貢献を通じ、より良い地球社会を実現します」というコミットメントに基づく、優良な環境経営が高く評価されました。

「DBJ 環境格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評価、優れた企業を選出し、その評価に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。今回の格付では以下の点について特に高く評価されました。

- (1) 従来機と比較してCO₂排出量や騒音レベルを大幅に改善した最新鋭の貨物航空機の導入を進めている点。
- (2) 飛行方法の効率化等のオペレーションの改善により、機材運用の効率化に継続して取り組んでいる点。
- (3) 成田国際空港において、他に例を見ない環境配慮型のライン整備ハンガーを設置し、機体水洗での雨水の利用やポリカーボネート製のライトウォールを通じた自然光の利用等により、環境負荷を大幅に削減している点。

今後も当社は、安全運航の確保と地球環境への配慮を経営の基本方針とし、地球環境への負荷軽減に努めるとともに、持続可能な社会の構築に積極的に取り組んで参ります。



当社ライン整備ハンガー（成田国際空港）

